

住友山田社宅保存活用計画（案）



住友山田社宅全景 平成 14 年 撮影

新居浜市



口絵 1 別子鉱業所長社宅全景



口絵 2 別子鉱業所長社宅 応接棟方向



口絵 3 住友化学幹部社宅全景



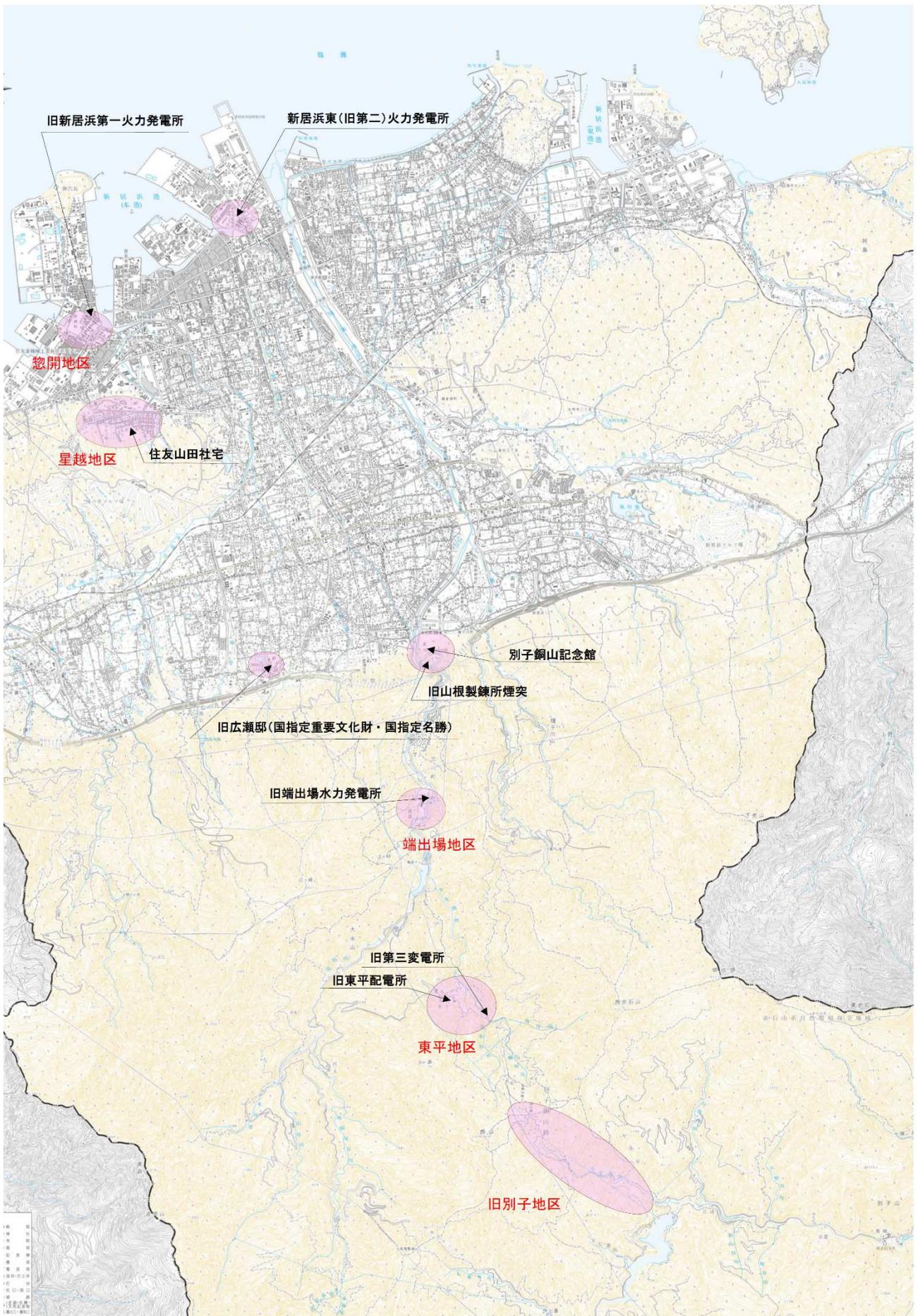
口絵 4 住友化学幹部社宅 玄関方向



口絵 5 外国人西社宅



口絵 6 外国人東社宅



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号平15四複、第156号)

口絵 7 住友山田住宅関係図

例 言

1. 本計画は「重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針」（平成 11 年 3 月文化庁文化財保護部）に準拠し、必要に応じて計画の標準項目の追加及び削除を行って策定した。
2. 本計画策定にあたり、「新居浜市山田社宅保存活用計画策定委員会」（以下「策定委員会」という。）を新たに設置し、外部有識者の専門的な指導・助言を得て策定した。また、市民主体で構成された「新居浜市山田社宅保存活用検討委員会」の意見をふまえ作成した。

山田社宅保存活用計画策定委員

	氏名	所属	専門分野
委員長	末岡 照啓	住友史料館副館長 広瀬歴史記念館特別顧問	日本近世・近代史 別子銅山全般研究
委員	清水 真一	徳島文理大学文学部教授	日本建築史
委員	矢ヶ崎 善太郎	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科准教授 (現 大阪電気通信大学工学部建築学科教授)	日本建築史
委員	花岡 直樹	株式会社花岡直樹建築事務所	文化財建造物保存設計

山田社宅保存活用計画技術指導者

	氏名	所属	専門分野
技術指導	富永 善啓	株式会社文化財構造計画	文化財建造物保存設計

3. 本計画の策定にあたり、新居浜市は住友林業ホームテック株式会社に委託した。
4. 本計画書の執筆担当は、以下のとおり。

編集：別子銅山文化遺産課、住友林業ホームテック株式会社

本文執筆

第 1 章 住友史料館副館長 末岡 照啓

第 2 章～第 7 章 策定委員会、住友林業ホームテック株式会社、別子銅山文化遺産課

— 参考文献 —

『別子銅山が育んだ山田社宅』現況調査報告書 平成 22 年 3 月

— 凡例 —

社名（略称）	
住友金属鉱山(株)（鉱山）	住友林業(株)（林業）
住友化学(株)（化学）	(株)住友倉庫（倉庫）
住友重機械工業(株)（重機）	住友生命保険(相)（生命）
三井住友建設(株)（建設）	三井住友海上火災保険(株)（海上）
住友共同電力(株)（共電）	三井住友信託銀行(株)（信託）
三井住友銀行(株)（銀行）	

なお、社名は同一ページ内で複数回表記される場合は、略称を使用するものとし、それ以外は使用しないことを基本とする。

目次

口絵

発行にあつて

例言

目次

第1章 住友山田社宅の歴史的意義

1. はじめに
2. 別子銅山と住友社宅の変遷
3. 住友山田社宅の歴史的意義
4. むすび

第2章 計画の概要

1. 計画の作成
2. 対象物件の名称
3. 住友山田社宅の概要
4. 住友山田社宅保護の経緯
5. 保護の現状と課題
6. 計画の概要

第3章 保存管理計画

1. 保存管理の現状
2. 保護の方針
3. 建物の保存に係る部位の設定
4. 管理計画
5. 修理計画
6. 修理の方針

第4章 環境保全計画

1. 環境保全の現状
2. 環境保全の課題
3. 環境保全の計画区域と基本方針
4. 計画区域外の環境保全について
5. 建造物の区分と保護の方針
6. 工作物の保護の方針
7. 工作物等の課題と対策

第5章 防災計画

1. 防火・防犯対策
2. 耐震対策
3. 耐風対策
4. その他の災害対策

第6章 活用計画

1. 公開その他の活用の基本方針
2. 公開計画
3. 活用基本計画
4. 実施に向けての課題の整理
5. 課題への対応

第7章 保護に係る諸手続き

1. 登録有形文化財に係る諸手続き

資料編

1. 社宅企業別区画図面
2. 社宅の変遷
3. 古写真
4. 施工報告書
5. 修理の方針（部位の設定）

